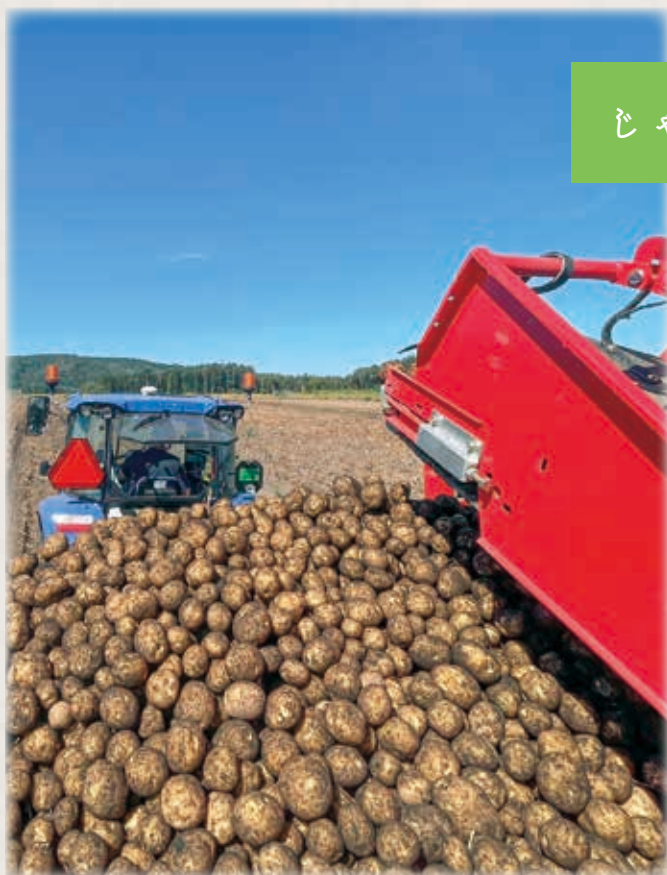


安平町の いま

じゃがいもゴロゴロ ～実りの秋～



9月のある日。強い日差しが降り注ぐ畑へお邪魔し、じゃがいもの収穫の様子取材してきました。

大きな畑には数えきれないほど多くの畝。その下にはたくさんじゃがいもが埋まっております。手作業ではとても終わりそうにもありません。

今は、ハーベスターと言われる農業機械で収穫していくのですが、休みなくハーベスターに積まれてくるじゃがいもの選別作業はなんと手作業。取材させていただいたと

きは4名の方が乗り込み、変色しているものや欠けているものなどの選別。私たちの手元に品質が良いものが届くのはこういった丁寧な作業があるからなのでしょう。選別されたじゃがいもも決して無駄になることはなく、でんぷんなどの加工品へと姿を変え流通していくそうです。天気に恵まれる収穫の秋となりますように。

【撮影・文／
総務課情報グループ 小林】

夏から秋、そして冬へ。

地域おこし協力隊 木下 知佳

いよいよ秋到来！すでにナカマドは赤い実をつけ、栗の木からは実が落ちて道端に転がっています。気温の変化や日暮れの早さだけでなく、毎日何気なく見ている景色からも秋を感じられるようになってきました。

除雪機やスタッドレスタイヤなど、冬に向けた商品のCMも始まり、もう冬支度を考えないといけないのか…と一年の早さに驚いています。

昨冬は大雪に見舞われた安平町。この冬は大きな被害が出ないことを願うばかりです。



広報あびら 編集者コラム
vol.29



『月曜日新聞』に携わった方々を取材して

総務課情報グループ 亀井 紳之介

『月曜日新聞』は、まちと町外とのつながりを大切にしていたことが取材をしてわかりました。どんな思いで移住してきたのか、好きなことをまちで挑戦していきたいという思いを知ることができました。特定の人に取材し、色々な人が執筆するコーナーもあり盛りだくさんです。

数年間やってきた新聞が今もこうして保存されており、今回特集で取り上げたことで『月曜日新聞』の存在を知り、興味を持っていただけたら嬉しいです。

